

2016大分トリニータ サポーターとクラブとの意見交換会での提案に対する対応

【トップチームに関すること】

サポーターからの提案内容

試合前日の非公開練習を公開してほしい。

クラブとしての対応

非公開練習では、主にセットプレーやサインプレーの確認などをやっています。その効果ははっきりと出ている試合もあります。今シーズンは「勝ち」にこだわる必要があります。サポーターには大変申し訳ないと思いますが非公開でやらせていただきます。

サポーターからの提案内容

GMを配置するという事はないのでしょうか。

クラブとしての対応

簡略な組織とするためにも、いまは配置するつもりはありません。強化部長＝ゼネラルマネージャーという形でやっていきます。

サポーターからの提案内容

藤枝の監督さんがハーフタイムと試合後に観客コメントをやっていました。今までと違ったようなことを大分にもしてほしい。

クラブとしての対応

監督はハーフタイムでは、前半の分析などをスタッフ間でミーティングをして、選手に伝える作業に集中してほしいと思っています。まだ具体的なものではありませんが、大分ならではもの考えていきたいと思っています。

【フロントに関すること】

サポーターからの提案内容

営業戦略について二つの強化をしていただきたい。一つ目はソリューション営業、二つ目はクラウドファンディングという手法も検討し、営業に頑張っているなという姿勢をもっとアピールしていただきたい。

クラブとしての対応

ソリューション営業については、スポンサーやパートナーが何を求めているか、何が課題なのかを汲み取り、我々の出来る最大限のサービスを提案していきます。クラウドファンディングについては、市場規模もそれ程大きくないこと、本当に不特定多数相手の資金調達が良いのか、ということを考えて時期尚早だと考えています。但し、資金調達の選択肢としては検討を続けていきます。

サポーターからの提案内容

今年も大分総力戦をする予定はあるのでしょうか。

クラブとしての対応

現在、開催する方向で検討しています。例年のように無料入場とするかどうかも含めて、内容は見直す方向です。

サポーターからの提案内容

大分市以外にポスターの掲出が少ないと思うので、もっと増やすべきでは。

クラブとしての対応

後援会支部や公共性の強いところを中心にお願いし、あとは社員の人海戦術

でポスターを掲示していただけるよう取り組みます。

サポーターからの提案内容 アウェイの試合にも行きますが、非常に親切なところが多い。大分銀行ドームでも職員が先頭に立って、細やかな対応を是非お願いしたい。

クラブとしての対応 クラブとしては「ホスピタリティ日本一」をめざします。そのためには職員が先頭に立ち関係者も含めて、観客の立場に立った対応が必要です。まずは挨拶や言葉遣いについて改善していきます。

サポーターからの提案内容 冬のドームで、温かい飲み物がいつも全部売り切れなので改善していただきたい。

クラブとしての対応 大分銀行ドームと協力して改善していきます。

サポーターからの提案内容 試合に関するジャストタイムでの情報が少ないので、アウェイで実施しているテキスト速報を、ホームゲームでもやっていただきたい。

クラブとしての対応 実施する方向で検討していますが、経費等の課題も多く、整理したうえで可否を決定します。

サポーターからの提案内容 今後、継続的にサポーターとクラブとの話し合いはありますか。

クラブとしての対応 基本的には毎年定期的開催する方向で考えています。時期的な部分では新体制発表後の2月頃で検討しています。また、成績等による不定期の開催も考えています。

サポーターからの提案内容 子供のトリニータに対する無関心さが急速に進んでいるなど感じております。その子ども達に対する大分市以外の地域の子供達に何かやる予定とか、そういう取り組みの予定があるのかお伺いしたいです。

クラブとしての対応 現段階は検討中で具体的なものは出ていませんが、例えば、現在実施している学校訪問では、学校や子ども達が何を期待しているかを事前にリサーチし、プロの技術が見たいのであれば実際のプレーやシュートなどプロの凄さを見せて、少しでも関心を持ってもらえるよう内容の充実に努めます。

サポーターからの提案内容 電話で問い合わせをした時に大分FCの社員の対応が悪いとか、気が利かないときがあるということをもれ聞くことがある。研修等で見直しをしていただきたい。

クラブとしての対応 電話対応は非常に大切なことと考えていますので、研修等でしっかり社員全員に徹底していきます。また、応対マニュアルを作成するとともに、誰でも応対できるよう情報共有を図っていきます。